

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 母子・父子健康手帳交付及び両親学級事業	妊婦へ問診、集団教育、個別保健指導を行い手帳を交付する。	手帳交付者数	人	564	550	558	560
② 妊産婦訪問事業	妊産婦を訪問し個別保健指導を行う(妊娠・産後2ヶ月頃)。	訪問人数	人	434	493	496	500
③ 乳幼児訪問事業	2ヶ月児を訪問し個別保健指導、体重測定を行う。	訪問人数	人	398	467	485	485
④ さくらんぼ学級業務	2ヶ月児の母子を対象に集団教育、計測、個別保健指導を行う。	開催回数	回	24	24	24	24
⑤ 母子保健推進員活動支援業務	母子保健推進員が妊婦訪問、乳児訪問を行う。	訪問件数	件	911	765	820	820

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 訪問指導率	訪問乳児人数/年間出生数	%	80.0	80.0	80.0	93.0
			77.7	81.9	93.6	
2 さくらんぼ学級参加者数	参加した母親の数	人	540	500	490	485
			465	433	485	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	訪問や学級がなくなると、妊産婦及び乳幼児の健康状況の把握や適切な時期の保健指導ができなくなり、母子の健康の保持増進へのタイムリーな支援ができなくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>こんには赤ちゃん事業のスタッフとして、母子保健推進員は重要な役割を果たしているため、母子保健推進員が不安なく妊産婦・乳児訪問が実施できるように、定例会での研修内容を充実させ、継続して育成していく。またさくらんぼ学級やのびのび子育て相談は来所者が増えており、身近な子育ての相談の場となっていることから継続して実施する。</p>
昨年からの見直し・改善状況【32】	<p>第1子は担当地区保健師、第2子以降は助産師・母子保健推進員が訪問し、なるべく全ての乳児のいる家庭を訪問し状況把握や保健指導を行い、育児不安の軽減や健やかな発育・発達に効果を上げている。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	母子が安心して暮らせる市であるよう、訪問活動、さくらんぼ学級の活動を強化しながら継続すべき事業である。	評価責任者 村上 隆之
------------------	---	----------------